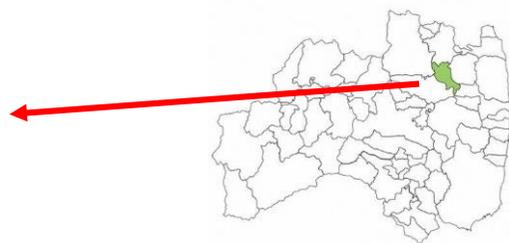


# 産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(31年度:計画作成主体:川俣町地域農業再生協議会)(福島県)

## 取組の概要

- 対象品目 : 野菜苗(キュウリ、トマト、スイカ、メロン、ナス)(産地面積608ha)
- 主な取組主体 : ベルグ福島株式会社
- 成果目標 : 販売額の10%以上の増加(総販売額)  
 基準(H30年度) 429,982千円  
 目標(R3年度) 583,742千円
- 導入施設等 : 整備事業(育苗施設)  
 大屋根型連棟フィルムハウス(4,206㎡)及び付帯設備

福島県  
川俣町



## ポイント

### 【産地の課題及び取組方向】

川俣町の農業は、原子力災害による避難指示区域は平成29年度に解除され、徐々に営農が再開されているものの、風評被害に加え、過疎・中山間地域であることから、高齢化の進行及び新規就農者の減少、遊休農地の増加が問題となっている。

また、全国の野菜園芸産地では苗生産に非常に繊細な栽培技術が求められるため、生産者の負担が大きくなっていることを踏まえ、平成26年から当町内において、福島県内を中心に、野菜園芸産地の発展に向けて良質な接ぎ木苗の生産・供給を行ってきたところである。

### 【産地の体質強化に向けた方策】

育苗施設を増設することにより、供給先のニーズに対応でき、より高品質な野菜苗産地の形成を図り、施設園芸の展開・推進に貢献するとともに、年間を通じ安定した苗生産による雇用の創出と農業所得の向上を図る。

## 産地体制

- 県北農林事務所(県)
- 川俣町
- JAふくしま未来

- 川俣町地域農業再生協議会
- ①計画の策定・管理
- ②取組計画への助言

指導・助言

情報共有

- 協議会と取組主体との情報共有(取組状況等)
- 行政機関(県、町)及び農協によるサポート体制

- ベルグ福島株式会社
- ①取組計画の作成
- ②取組実施等

## 地域における独自の取組

### 〈主な取組〉

- 地元教育機関を対象とした講義や接ぎ木の實習、農場見学会を開催。
- 野菜生産者及び関連団体の視察会実施。

## 取組成果

### 【事業実施による直接効果】

- ①直接定植用の接ぎ木ポット苗を増産。
- ②ワクチン接種接ぎ木苗の増産による高付加価値化

### 【事業実施による間接効果】

- ①年間を通じた苗生産により、雇用の創出と地域の農業の推進
- ②良質な野菜苗産地として、野菜園芸産地へ苗を供給。



**販売額が44%増加**  
(達成率123%)

